

## メキシコ政治情勢（12月）

### 〔概要〕

#### 【内政】

- 1日、ロペス・オブラドール大統領、就任3年を迎え、憲法広場で政策演説。
- 1日、エル・フィナンシエロ紙、大統領支持率等に係る世論調査結果を発表。「ロ」大統領の支持率は66%で、前月比6%増。
- 3日、メキシコにおける新型コロナウイルス・オミクロン株の感染症例の一件目が確認。
- 9日、チアパス州で中米等の移民約170名を乗せたトレーラーが横転、55名が死亡。
- 14日、野党連合、2022年州知事選挙に向けた共闘を発表。

#### 【外交】

- 1日、プエブラ・グループ会合（ラ米及びスペインの進歩主義政治家の集い）がメキシコ市で開催。
- 2日、墨政府、米政府による移民保護プロトコルの適用再開受け入れを発表。
- 2日、ラ米EUサミットが開催され（オンライン）、「ロ」大統領が参加。
- 3日、CELAC・中国外相会合が開催（オンライン）。
- 6日、日墨政策協議が東京で開催。
- 9日、墨政府、米国による宇宙開発「アルテミサ計画」への参加を発表。
- 13日、墨米両政府、ハイレベル経済対話のフォローアップとしての作業計画を発表。
- 14日、墨米ハイレベル治安対話のフォローアップ会合がメキシコ市で開催。
- 16日、墨政府、エクアドルにアストラゼネカ社製ワクチンを贈与。
- 20日、墨仏外相会談がメキシコ市で開催。
- 21日、新型コロナウイルス感染症対策に係る有志国会合が開催（オンライン）。
- 22日、国連安保理で墨提出の小型武器の密輸対策に係る決議案が採択。

#### 【内政】

##### 1 ロペス・オブラドール大統領の就任3周年記念演説

1日、「ロ」大統領が就任3周年を迎え、約25万人（注：報道発表）の支持者他を前に演説。エネルギー関連憲法改正案を通じ、新自由主義により失われたエネルギー産業のバランスを回復し、国外企業に売り渡されたものを取り戻すと述べた。また、この3年間で不可逆的に変革の基盤が整ったこと等を強調した。

##### 2 大統領支持率等に係る世論調査結果

(1) 1日、エル・フィナンシエロ紙が、大統領支持率等に係る世論調査結果を発表。「ロ」大統領の支持率は66%で前月比6%増。不支持率は31%で前月比7%減。

(11月12～13日及び26～28日に、全国の有権者1,000名を対象に電話調査形式で実施。誤差±3.1%。※を付けた質問は、26～28日に500名を対象に実施。)

ア 「ロ」大統領の取組を支持するか。

- ・支持する：66% (前回(10月、以下同じ)60%)
- ・支持しない：31% (前回38%)

イ 国連安保理及び北米首脳会合への「ロ」大統領の参加を如何に評価するか。

国連安保理

- ・とても良い、又は良い：63%
- ・とても悪い、又は悪い：23%

北米首脳会合

- ・とても良い、又は良い：58%
- ・とても悪い、又は悪い：19%

ウ 政府のインフラ事業を国家安全保障上のプロジェクトと宣言する大統領令の発出を如何に評価するか。※

- ・とても良い、又は良い：58%
- ・とても悪い、又は悪い：25%

エ 政府のインフラ事業に関し、最も重要な事項はどれか。※

- ・事業のための手続が迅速に進むこと：24%
- ・公的資金の使途が透明であること：71%

オ 各分野における「ロ」政権の取組を如何に評価するか。

ワクチン接種

- ・とても良い、又は良い：74% (前回69%)
- ・とても悪い、又は悪い：18% (前回22%)

経済

- ・とても良い、又は良い：54% (前回44%)
- ・とても悪い、又は悪い：37% (前回43%)

治安対策

- ・とても良い、又は良い：36% (前回34%)
- ・とても悪い、又は悪い：53% (前回55%)

汚職対策

- ・とても良い、又は良い：41% (前回37%)
- ・とても悪い、又は悪い：48% (前回49%)

カ 以下の「ロ」大統領に期待される特質について好評価するか。

- ・誠実さ：64% (前回62%)
- ・リーダーシップ：61% (前回51%)
- ・結果を出す能力：52% (前回44%)

キ 本日が大統領信任投票日であった場合、如何に投票するか。

- ・ 信任票を投じる：62%（前回59%）
- ・ 不信任票を投じる：34%（前回38%）

ク 「ロ」大統領が提出したエネルギー関連憲法改正案に賛成か、反対か。

- ・ 賛成：58%（前回51%）
- ・ 反対：29%（前回31%）

ケ エネルギー関連憲法改正案につき、どの程度知っているか。

- ・ かなり、又はある程度知っている：48%（前回41%）
- ・ 全く、又は少ししか知らない：52%（前回59%）

(2) また、大統領支持率等に係る、その他主要機関の同時期における世論調査結果は以下のとおり。

ア エル・ユニベルサル紙：大統領支持率68%（前回（8月）比+6%）。

イ レフォルマ紙：大統領支持率58%（前回（8月）比-2%）、  
エネルギー関連憲法改正案への賛成意見41%、反対意見34%。

ウ オラクル（当地主要世論調査の平均）：大統領支持率65%。

### 3 新型コロナウイルス・オミクロン株への感染一例目の確認

3日、連邦政府は、メキシコにおける新型コロナウイルス・オミクロン株の感染症例の一件目（南アフリカからの入国者）が確認された旨発表（注：その後、2022年1月12日時点で、連邦政府発表によれば42件の症例が確認（国際的データベース機関（GISAID）及び墨各州保健局の発表によれば同日時点で合計804件の症例が確認））。なお、連邦政府は、累次にわたり、出入国制限等の措置は採らない方針を提示している。

### 4 チアパス州での、移民を乗せたトレーラー事故の発生

9日、チアパス州で中米等からの移民約170名を乗せたトレーラーが横転、55名が死亡、約100名が負傷する事故が発生。これを受け、墨外務省は、10日、中米等からの移民が国際的な人身売買ネットワークの犠牲となっている旨を強調し、今次事故の原因となった越境犯罪組織の調査、立件等を行うための即時行動グループ（米国、メキシコ、グアテマラ、エクアドル、ホンジュラス、ニカラグア、及びドミニカ共和国の代表者で構成）を設立する旨発表した。

### 5 2022年州知事選挙における野党連合の共闘にかかる発表

14日、国民行動党（PAN）、制度的革命党（PRI）、民主革命党（PRD）の3党首は、2022年の6州における州知事選挙のうち、4州（イダルゴ州、タマウリパス州、ドゥランゴ州及びアグアスカリエンテス州）で野党連合「Va por México」としての共通候補を擁立する旨発表した。また、残り2州（オアハカ州及びキンタナ・ロー州）においても共

通候補を擁立する可能性があり、交渉段階にあると述べた。なお、主要野党4党（PAN、PRI、PRD、市民運動（MC））の中でも、MCは、野党連合には加わらない旨既に明示している。

## 【外交】

### 1 プエブラ・グループ会合の開催

1日、メキシコ市にて、第7回プエブラ・グループ会合（ラ米及びスペインの進歩主義政治家の集い）が開催。「エ」外相が開会式に出席し、「ロ」大統領が11月9日の訪米時に国連安保理で提案した、G20各国、世界の資産家及び企業からの任意拠出で最貧困層を支援する趣旨の「友愛と福祉のための世界計画」を紹介。

### 2 米移民保護プロトコルの適用再開

2日、墨政府は、バイデン米政権により中断されていた米国政府による移民保護プロトコル（注：移民国籍法第235条(b)(2)(c)項。通称 Remain in Mexico。トランプ政権で施行された、第三国出身者がメキシコを通過して米国の庇護を申請する際、申請が承認されるまでメキシコ国内で待機するよう定める措置）の、米最高裁判断に基づく適用再開を受け入れる旨発表。これは、米政府が墨政府の人道上の懸念を受け入れたことに基づくと発表した。

12月6日以降順次適用が再開され、その後は、審査結果を待つ間、中米等からの移民は出身国には送還されない。

### 3 ラ米EUサミットの開催

2日、ラ米EUサミットがオンライン形式で開催され、「ロ」大統領が出席。両地域の首脳は、新型コロナウイルスのパンデミックによる保健・社会経済的影響に対処すべく、ラ米カリブ諸国及びEUの国々が直面している課題につき協議を行った。「ロ」大統領は、各国に対し、COVAXメカニズムへのワクチン供給を遵守するよう、また、「友愛及び福祉のための世界計画」に参加するよう呼びかけた。

### 4 ラ米カリブ諸国共同体（CELAC）・中国外相会合の開催

3日、第3回CELAC・中国外相会合がオンライン開催。今次会合は、中国との国際協力に関する地域の優先事項を定めることが目的とされ、農業、貿易・投資、文化、保健、教育等、CELAC中国間の重要な分野での協力に焦点を当てた「第3回CELAC中国外相会合共同宣言」及び「重要分野における協力のための共同行動計画2022-2024」が採択された。また、同会合で映写されたビデオメッセージにおいて、「ロ」大統領は、パンデミック対策のためのワクチンを通じた中国政府からメキシコへの支援及び協力につき、習国家主席へ謝意を表明。また、中国からラ米地域への支援にCELACとして謝意を表明した。

## 5 日墨政策協議の開催

6日、東京にて、第9回日墨政策協議が開催され、鈴木外務審議官、モレノ筆頭外務次官他が出席。双方は、地域情勢、新型コロナウイルス感染症対策における協力等につき意見交換した。また、強固な二国間経済関係、日墨EPA及びCPTPPによる恩恵を強調した。

## 6 墨政府、米国による宇宙開発「アルテミサ計画」への参加を発表

9日、墨政府は、米国政府（米航空宇宙局（NASA））が人類の月面調査のための宇宙開発を目的として推進している「アルテミサ計画」への参加を発表した。

## 7 墨米両政府、ハイレベル経済対話のフォローアップとして作業計画を発表

13日、墨米両政府は、9月に開催された両国ハイレベル経済対話のフォローアップとしての作業計画を発表した。同計画は、サプライチェーンの強化、移民の根本原因への対処、通信及びサイバーセキュリティにおける協力等を目的とする各種プロジェクトにより構成される。

## 8 墨米ハイレベル治安対話のフォローアップ会合が開催

14日、メキシコ市にて、墨米ハイレベル治安対話のフォローアップ会合が開催された。同会合の目的は、10月に開催された墨米ハイレベル治安対話に基づき、①国民保護部会、②越境犯罪防止部会、③犯罪ネットワーク追跡部会、④軍情報部会及び⑤二国間協力委員会の各作業部会の設置を通じて200周年了解を実行することとされた。また、同会合では、今後3年間の治安分野における二国間協力の暫定行動計画が提示された。同計画は、中毒症、殺人、銃器及び人身売買、麻薬取引等の削減を目指している。

## 9 墨政府、エクアドルにアストラゼネカ社製ワクチンを贈与

16日、墨政府はエクアドルに対し、墨国内で完成形にしたアストラゼネカ社製の抗新型コロナウイルス・ワクチン100万ドースを贈与した。

## 10 墨仏外相会談の開催

20日、「エ」外相は、訪墨中のル・ドリアン仏外相と外相会談を行い、地域問題及びパンデミックによる危機からの経済回復等の地球規模課題につき意見交換を行った。両外相は、現代化された墨EUグローバル協定の可能な限り早期の署名・批准に向け取り組むことに合意した。両外相は、二国間関係における進展及び短期・中期的なコミットメントを反映した共同宣言に署名した。

また、「ロ」大統領は、「ル」外相の二国間関係及び両国間協力の強化への功績を称え、メキシコのアステカ鷲勲章（注：メキシコ最高位の勲章）を叙勲した。

#### 1 1 米国主催新型コロナウイルス感染症対策に係る有志国会合

21日、米国国務省が主催した、新型コロナウイルス・オミクロン株への対応に係る有志国会合がオンラインで開催。メキシコから「エ」外相が参加した他、日本を含む約20カ国の外相他代表者が参加した。同会合では、医療品調達のためのサプライチェーンの強化、抗新型コロナウイルス・ワクチンの承認、オミクロン株に対する国際的な戦略の策定等につき協議され、「エ」外相は、メキシコにおけるワクチン接種計画の進展につき紹介した。

#### 1 2 墨提出の小型武器の密輸対策に係る国連安保理決議案が採択

22日、国連安保理において、墨が提出した小型武器の密輸対策に係る決議案が採択された（70カ国が共同提案国入り。賛成12票、棄権3票で採択。）。デ・ラ・フエンテ国連代大使は、墨外務省ツイッターに掲載されたビデオ映像で、今次決議案の重要性を強調した。

「エ」外相は、本決議がメキシコへの武器密輸及びメキシコに存在する武器量の削減に資すると述べ、米国をはじめ世界の大国がメキシコの取組に賛同した点を強調した。

(了)